

魅力あふれる、輝く小林市へ

堀 研二郎 市長 プロフィール

生年月日 1985年1月30日(41歳)

主な経歴 令和5年5月小林市議会議員
令和8年4月 小林市長

出身校 小林小学校、小林中学校、
小林高等学校、東京農業大学

1 人口減少対策・ 担い手の育成と確保

目指すのは、単なる人口減少の抑制ではなく、市民が誇りを持ち住み続けたいと思うまちづくり。地域の担い手確保や、女性や若者が活躍できる環境を整え、新たな移住や定住、人々の交流につなげます。



2 教育環境の充実

教育は、まちと子どもたちの未来を作る大切な土台。郷土への誇りや生き抜く力を育むため、基礎学力の向上や地域資源を生かした探求学習、キャリア教育、ICT環境の整備を進めます。



3 子育て環境の充実

安心して子育てができる環境は、選ばれるまちの基盤。経済的支援や保育環境の充実に加え、医療や雇用、地域の支え合いなど各分野が連携し、仕事と両立できる子育て環境をまち全体で整えます。



4 地域コミュニティの再生・ 若い世代の参画

これまでみんなで育んできた地域住民同士の支え合い。この地域の絆を維持・発展させるため、若者や子育て世代のアイデアを生かす仕組みを作り、全ての世代が参加しやすいまちづくりを進めます。



5 産業の復興・ 産官学連携の推進

市の強みである農林畜産業をはじめとする、豊かな地域資源の魅力を磨き、産官学連携で新たな価値を創出。民間の知恵や技術も生かし、稼げる産業の復興や雇用創出、経済の好循環へとつなげます。



6 情報発信の強化

戦略的な広報体制を充実させ、市の豊かな魅力や取り組みを広く伝えるため、日々進展している新たなデジタル技術のさらなる活用を図りながら、市内外への効果的な情報発信を行います。



6つの

重点施策を進めます

私は、小林市のまちづくりの原点は小林市まちづくり基本条例の前文に規定されている「ひとり一人がまちづくりの主体であることを自覚し、互いに尊重しながら、協働によるまちづくりを推進する」という理念にあると考えています。

小林市は豊かな自然、農林畜産物、そして温かい人のつながりに恵まれたまちです。一方で、人口減少や少子高齢化、地域コミュニティの希薄化、産業を支える担い手不足など、将来にわたる持続可能性に関わる課題に直面しています。

そのような中、私は第3次小林市総合計画前期基本計画を市政運営の基本に、これまでの市政の歩みと成果を継承しつつ、必要な見直しと新たな視点を加え、

6つの重点施策を柱に、着実に市政を進めます。

「人口減少対策・ 担い手の育成と確保」

人口減少対策は、単に人口減少の抑制を目的とするものではなく、市民一人ひとりが、誇りをもって、小林市に住み続けたいと思える環境の整備が必要です。そのため、農林畜産業をはじめとする地域産業や地域活動を支える人材確保に努めるとともに、女性や若い世代が活躍できる環境の充実を図ることで移住・定住の促進や関係人口・交流人口の創出につなげます。

「教育環境の充実」

教育は、子どもたちの未

生かし、関係者と連携しながら、稼げる産業の復興、雇用の創出、地域経済の好循環につなげ、活力ある小林市を目指します。

「情報発信の強化」

デジタル技術のさらなる活用などを図るとともに、戦略的な広報体制を充実させ、市内外に向けて、市の魅力や取り組みを効果的に発信していきます。

「魅力あふれる、輝く小林市」の実現に全力

この6つの重点施策を着実に推進し、新たな市政のスタートに寄せられた市民の皆さまの期待に応えられるよう、柔軟な発想で市政をより身近に感じていただける市政運営に努めます。そして、小林市の持つさまざまな魅力が輝き、子どもたちが「ここに生まれ育って良かった」と誇りと自信を持って言えるまち、

来を拓くとともに、市の将来を支える人づくりの基礎となるものです。

子どもたちが故郷に誇りを持ち、郷土愛や豊かな心を育みながら、未来を生き抜く力を身に付けられるように、基礎学力の向上、地域資源を生かした探求学習、キャリア教育、ICT環境の整備を進めます。

「子育て環境の充実」

安心して子どもを産み、育てることができるとまちづくりは人口減少対策の基盤です。経済的支援の拡充や保育環境の充実に取り組み、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めます。

また、子育て環境は保育や教育だけではなく、地域の支え合い、医療、雇用の暮らしなどとも密接に関わるものです。働く場の確保や仕事と子育てを両立しやすい環境整備を含め、関係分野が連携して子育て環境の充実を図ります。

「魅力あふれる、輝く小林市」の実現に向けて全力で取り組んでいきます。

また、施策の推進に当たっては、国・県の財政的支援などを活用しながら、将来世代に過度な負担を残さない、持続可能な行財政運営に努めます。

併せて、各重点施策については、社会情勢や市民のニーズを的確に捉え、職員と知恵を出し合いながら、施策の必要性や効果、財源の見通しを十分に見極め、準備が整ったものから、順次、取り組んでいきます。今後、皆さまの声に真摯に耳を傾けながら、誰もがまちづくりの主役として想いを形にできる市政運営に努めます。

小林市の未来を切り拓くためには、市民、地域、行政など、多様な主体が互いに支え合いながら力を合わせる事が不可欠です。共に前へ進むため、一層のご理解とご協力を心から願います。